

報道関係各位

2019年9月17日

【取材のご案内】工学院大学附属中高生がプロデュースした 『大山ジビエキーマカレー』を文化祭で販売

～2019年9月21日(土)・22日(日) in 工学院大学附属中学校・高等学校～

工学院大学附属中学校・高等学校(所在地:東京都八王子市、校長:平方邦行)と特定非営利法人 very50(本社:東京都豊島区、代表理事:菅谷亮介)は、同校の生徒がプロデュースした鳥取県大山町の特産であるジビエを使った『大山ジビエキーマカレー』を2019年9月21日(土)・22日(日)の2日間にわたり、工学院大学附属中学校・高等学校の文化祭「夢工祭2019」にて販売します。この『大山ジビエキーマカレー』は、特定非営利法人 very50 が提供する SDGs の問題解決を行う探究プログラム(MoG:モグ)に参加した生徒達によって開発されました。

工学院大学附属中高生がプロデュース 鳥取県大山町の特産品を使った『大山ジビエキーマカレー』販売概要

- 日時:9月21日(土)10:00～15:30、9月22日(日)9:30～15:00
- 場所:工学院大学附属中学校・高等学校「夢工祭2019」
(東京都八王子市中野町2647-2)
- 価格:未定 ※限定20食、無くなり次第終了



『大山ジビエキーマカレー』

生徒達はこの探究プログラムで、約2か月の期間、事前学習として商品開発に必要な知識(マーケティングや企画の方法)を学び、フィールドワークとして現地で大山ジビエの解体現場の見学や、観光客へアンケートやインタビューといったマーケティングを行い、商品開発に活かしました。

今回生徒達が開発した『大山ジビエキーマカレー』は、若い女性をターゲットに、ケチャップやヨーグルトなどの隠し味でマイルドな味付けにし、盛り付けにはチーズや卵を使って、大山の壮大な雪山を表現しています。

工学院大学附属中学校・高等学校では、「THINK, MAKE, SHARE」を教育の柱とし、21世紀型教育として対話型問題解決型授業・ICT教育を実施しています。2015年から特定非営利法人 very50 が提供する国内外の MoG に多数の中高生たちが参加し、実践的に学びを深めています。



商品開発に挑む中高生

＜本件に関するお問い合わせ＞

特定非営利活動法人 very50

担当:井口

携帯:070-4333-6181 / TEL:03-4405-4672

e-mail: tomomi.i@very50.org

＜取材に関するお問い合わせ＞

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課

担当:樋口・堀口・松本

TEL: 03-3340-1498

e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp